

概要版

新しい千葉の時代を切り開く

CHIBA

千葉県総合計画

千葉県総合計画の詳しい情報は
千葉県ホームページに掲載しています。



千葉県総合計画

<https://www.pref.chiba.lg.jp/seisaku/sougou/aratanakeikaku.html>

千葉県 総合企画部 政策企画課
〒260-8667 千葉市中央区市場町1番1号
電話:043-223-2483 FAX:043-225-4467



総合計画策定の趣旨について～

近年、本県では、台風等の自然災害や新型コロナウイルス感染症の拡大などにより、県民生活や経済活動に甚大な被害・影響が生じています。また、本県においても、今後、人口減少に伴い、地域経済の縮小や都市・集落の機能低下などが懸念されています。

こうした中、県では、防災や感染症対策など喫緊の課題に対応し、県民の命と暮らしを守るとともに、海と緑に囲まれた自然環境や優れた都市機能を生かし、豊かな県民生活を実現できる「千葉の未来」を切り開いていくため、新たな総合計画を策定しました。本計画では、千葉県が目指す姿をお示しするとともに、その実現に向けて必要となる重点的な施策を取りまとめています。

千葉県の11つの課題

6 医療・福祉ニーズの増加と健康志向の高まりへの対応

1 感染症・災害等リスクの増大への対応

2 暮らしの安全・安心の確保

3 人口減少・少子高齢化への対応

4 社会経済情勢の変化への対応

5 半島性の克服と活用

7 環境保全・持続可能な社会づくり

8 価値観・ライフスタイルの多様化への対応

9 デジタル社会の推進

10 SDGsの推進

11 行財政改革の推進

総合計画の構成と期間



基本構想編

10年後の本県の目指す姿とこれを達成するための目標と政策の方向性

実施計画編

目標を達成するために、令和4～6年度までの3か年で重点的に実施する取組



基本理念

千葉の未来を切り開く
「まち」「海・緑」「ひと」がきらめく千葉の実現

この計画が目指す
10年後の千葉の姿

I 危機管理体制の構築と安全の確保

感染症や災害に対する迅速かつ確かな危機管理体制を構築している千葉。様々な災害に対する防災基盤等の整備が進んでいる千葉。防犯対策と交通安全施策が行き届いている安全・安心な千葉。

II 千葉経済圏の確立と社会資本の整備

社会経済環境の変化を確実に取り込み地域経済が活性化している千葉。農林水産業が魅力ある力強い産業に育っている千葉。交通ネットワークの整備と社会資本の充実が進む千葉。

III 未来を支える医療・福祉の充実

健康で生き生きと安心して暮らせる千葉。誰もが住み慣れた地域で個性豊かにその人らしく暮らせる千葉。



IV 子どもの可能性を広げる千葉の確立

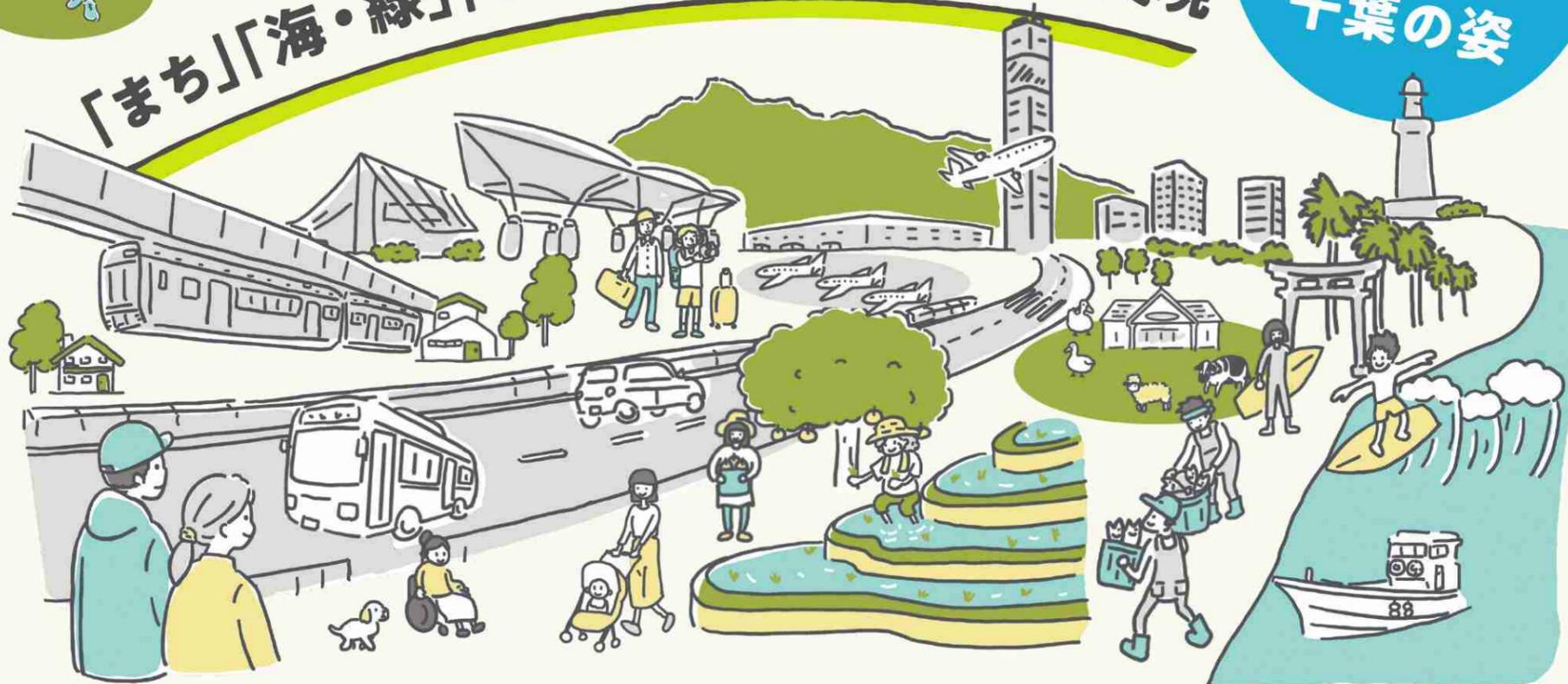
誰もが希望どおりに妊娠・出産・子育てができる千葉。児童生徒一人一人の可能性を広げ社会で活躍できる人材を育成する千葉。

V 誰もがその人らしく生きる・分かり合える社会の実現

誰もがその人らしく生きていくことができる千葉。多様な主体が連携・協働し様々な課題解決に取り組んでいる千葉。

VI 独自の自然・文化を生かした魅力ある千葉の創造

様々な「千葉」の魅力の活用により人々が集う千葉。豊かな自然環境が守られ、活用されている千葉。誰もが文化芸術・スポーツに親しめる千葉。



県づくりの方向性

～各地域の課題や特性を踏まえた取組の推進～

人口減少や少子高齢化の進行、災害の激甚化や新たな感染症の脅威など本県を取り巻く環境は厳しさを増しており、その影響は一律ではないことから、地域ごとの特性に応じた対応が求められます。こうした中、今後は、成田空港の更なる機能強化や、アクアライン、圏央道などの整備進展により生み出される人・モノ・財の流れを、各地域の産業振興や魅力あるまちづくり、交流人口の増加などにつなげ、県全体の活性化を図り、県内外から求められる千葉を実現する必要があります。

このため、本県の各地域が持つ特性を把握した上で、共通する特性や可能性を持つ地域を大きくくりとして6つのゾーンを設定し、それぞれの特性や強みを踏まえ、地域の活性化に向けた取組の方向性を示します。



東葛・湾岸ゾーン

多様な産業と都市機能の一層の充実を図り、首都圏での都市間競争における更なる優位性向上を図る

- 都市部の特徴を考慮した感染症対策、災害時対策などの推進
- 大学や中小企業の産学官連携、ものづくり産業の振興
- 幕張新都心の国際的ブランドイメージの向上
- 交通混雑の解消、首都圏の生産力を高める各種道路整備
- 6次産業化や農工商連携による農村水産物の高付加価値化
- 働く世代、子育て世代等の移住促進

印旛ゾーン

成田空港の更なる機能強化等の効果や国内外からの活力を生かした地域振興を図る

- 空港の機能強化、道路整備による利便性向上
- インターチェンジ周辺等への多様な産業の誘致
- 千葉ニュータウン周辺の企業立地と雇用創出、移住増加
- 農産物の高付加価値化、輸出促進
- 日本遺産等の歴史的資源の活用、外国人旅行者の誘客

香取・東総ゾーン

農林水産業の産地機能の更なる強化を図るとともに、成田空港、北関東・東北方面とのつながりを生かし、多様な産業展開を図る

- 農林水産業の経営力強化、海外輸出等による販路拡大
- インターチェンジ周辺等への多様な産業の誘致
- 自然や歴史・文化を生かした観光の推進、外国人旅行者プロモーション推進による成田空港からの誘客促進
- 多様な産業展開や豊かな自然、多彩な食などの魅力を発信し、移住・定住を促進
- 道路整備進展、空港の機能強化による農林水産業や観光業の更なる振興
- 洋上風力発電事業の進展等による新たな雇用創出

内房ゾーン

道路網を介した他地域との交流機能を生かし、幅広い産業を活用した地域振興を図る

- アクアライン着岸地の優位性を生かした雇用・居住の場としての役割の向上
- 東京湾臨海部の工業地帯の脱炭素社会の実現・事業環境向上
- インターチェンジ周辺等への多様な産業の誘致
- 都市近郊農業の発展と東京湾漁業の振興
- 多彩な観光資源を生かした観光客の呼び込み

九十九里ゾーン

圏央道整備効果を様々な産業活動に取り込むとともに、各種産業の連携による地域振興を図る

- 幹線道路整備進展、空港機能強化による各種産業活動の促進
- 企業立地の促進、インターチェンジ周辺等への多様な産業の誘致
- サーフィンの適地を求めて集まる人々の感性を生かした、まちづくりや産業振興
- 農林水産業の更なる発展に向けた生産体制の強化
- 豊かな自然と、都心への良好なアクセスを生かした、移住・定住の促進

南房総・外房ゾーン

海と緑に囲まれた自然環境や多様なライフスタイルの魅力を発信し、観光や移住を促進することで地域振興を図る

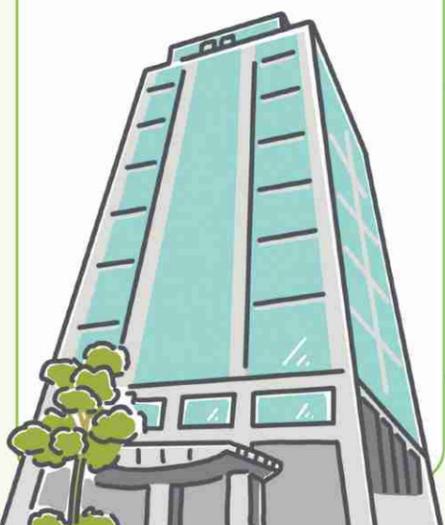
- 自然環境を生かしたワーケーションやインバウンドの促進
- 二地域居住など移住・定住の促進
- 6次産業化の支援や、グリーン・ブルーツーリズムによる農山漁村の活性化
- 新たなビジネス展開による雇用の創出
- 体験型観光・スポーツツーリズムの推進

九十九里ゾーン

施策横断的な視点

* 施策を着実に効果的に推進できる体制を構築するための視点

県政運営を貫く3本の矢



- 

千葉の総力を結集した県づくり

 - 県と市町村との連携強化
 - 民間活力の積極的な利用
 - 県民との情報共有と協働
 - 他都道府県との広域連携
- 

くらしを豊かにするデジタル技術の効果的な活用

 - デジタル技術の効果的な活用による地域課題の解決
 - 行政手続の改善
 - オープンデータ等の活用
- 

県民視点に立った効果的・効率的な行政組織への変革

 - 行財政改革の推進
 - 地方分権の推進

* 複数の分野に関係するとともに、未来の千葉県を築いていく上で欠かせない3つの視点

SDGsの推進



SDGsは経済・社会・環境をめぐる広範な課題に対して統合的に取り組むものであり、その考え方は、県政の様々な分野において、県が目指すべき方向性と同じであることから、本計画に掲げる政策・施策を着実に推進していく。

カーボンニュートラルに向けた取組の推進



カーボンニュートラルの実現に向け、県民の温暖化対策への理解促進や行動変容、事業者の脱炭素に係る新技術の開発や取り込みなどによる競争力の強化等、環境、商工業、農林水産業、社会資本整備など様々な分野で全庁を挙げて取り組む。

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のレガシー活用



サーフィン競技初の開催地を生かした地域づくりや、パラリンピック開催を契機とした障害のある人の社会参加促進、多様なボランティア活動の展開などの取組をレガシーとして、スポーツ・文化を通じた地域の活性化や、共生社会の実現を進め、本県の持続的な発展につなげていく。

重点的な施策・取組

I 危機管理体制の構築と安全の確保

危機管理体制の構築

防災基盤の整備

くらしの安全・安心の確保

- 
- ① 感染症等健康危機への対応力強化**
 - 健康危機対策
 - 生活様式や社会経済情勢の変化を踏まえた県内経済の力強い回復
 - ② 災害から県民を守る「防災県」の確立**
 - 令和元年房総半島台風等からの復旧・復興
 - 防災連携体制の充実強化
 - 自助・共助の取組強化
 - 津波避難・液状化対策の推進
 - 消防・救急救助体制の充実強化
 - 石油コンビナート防災対策の推進
 - 事業者による防災対策の推進
 - ① 災害に強いまちづくりの推進**
 - 災害に強い社会資本の整備
 - 建築物・宅地の災害対策の推進
 - 農林水産業における災害対策等の推進
 - ① 犯罪の起こりにくい社会づくりと被害者等支援の充実**
 - 自主防犯意識の向上と防犯対策の推進
 - 犯罪の徹底検挙と犯罪組織の壊滅
 - サイバー空間に対する総合対策の推進
 - テロの未然防止
 - 警察基盤の整備
 - DV・ストーカー防止と被害者支援の充実
 - 犯罪被害者等の支援の充実
 - 再犯防止対策
 - ② 交通安全県ちばの確立**
 - 県民総参加でつくる交通安全の推進
 - 高齢者の交通事故防止対策の推進
 - 自転車安全利用の推進
 - 悪質・危険な運転者対策の強化
 - 交通安全教育の充実
 - 交通安全環境の整備
 - 交通指導取締りの強化
 - 適正かつ緻密な交通事故事件捜査の推進
 - ③ 消費生活の安定と向上**
 - 相談・支援体制の充実
 - ライフステージに応じた学習機会の確保と消費者教育の推進
 - 悪質事業者対策の強化
 - 食の安全と消費者の信頼確保
- 

II 千葉経済圏の確立と社会資本の整備

経済の活性化

農林水産業の振興

- ① 産業の振興と企業立地の促進**
 - 京葉臨海コンビナートの競争力強化
 - 新産業の振興
 - 再生可能エネルギー産業等の振興
 - 豊富な地域資源を生かした地域経済の活性化
 - 産学官連携やベンチャー企業の育成によるイノベーションの促進
 - 産業を支える技術の高度化
 - 地域の特性に応じた戦略的な企業誘致の推進
 - 県内企業の海外取引・輸出の促進
 - MICEの誘致促進と幕張メッセの競争力強化
 - ② 中小企業・小規模事業者の経営基盤強化**
 - 中小企業・小規模事業者の経営力の向上
 - 資金調達の円滑化
 - 販路開拓の促進
 - 起業・創業の促進
 - 中小企業等の人材確保・育成支援
 - 事業承継支援
 - 商店街の活性化支援
 - ③ 雇用対策と人材の育成・確保**
 - 雇用の促進と多様な就労の支援
 - 産業界のニーズに応える人材育成
 - 多様な働き方の実現に向けた環境の整備
 - ④ 成田空港の更なる機能強化と空港を活用した県経済の活性化**
 - 成田空港周辺地域の環境対策・地域共生策の推進
 - 成田空港周辺地域の振興
 - 成田空港を活用した県経済の活性化
 - 成田空港への交通アクセスの強化
 - ⑤ 観光立県の推進**
 - 魅力ある観光地づくり
 - 観光産業の競争力強化
 - 国内観光プロモーションの展開
 - インバウンドの推進
 - ① 次世代を担う人材の育成・確保**
 - 農林漁業者の経営力の向上
 - 農林水産業を支える人材の確保・育成・定着
 - ② 農林水産業の成長力の強化**
 - スマート農林水産業の加速化
 - 生産体制の強化・充実
 - 農地利用の最適化
 - 水産資源の管理と維持・増大
 - 農林水産物の安全確保と消費者の信頼確保
 - 環境に配慮した農林水産業の推進
 - 試験研究の強化
 - ③ 市場動向を捉えた販売力の強化**
 - 需要を捉えた販売の促進
 - 地域資源を活用した需要の創出・拡大
 - 新たな販路開拓に向けた輸出促進
- 

社会資本の充実とまちづくり

- ① 半島性を克服する交通ネットワークの強化
 - 公共交通ネットワークの充実・維持・確保
 - 交流を支える道路ネットワークの整備・有効活用
 - 港湾の整備・振興
- ② 社会資本の適正な維持管理
 - 既存施設の適切な維持管理と長寿命化
 - 安全で良質な水の安定供給
- ③ 人と環境にやさしい住まい・まちづくりの推進
 - 時代の変化に対応したまちづくりの推進
 - 安全・安心で魅力あふれるまちづくり
 - バリアフリー化の推進
 - 環境・景観に配慮した整備・保全
 - 豊かな住生活の実現

III 未来を支える医療・福祉の充実

医療提供体制の充実と健康づくりの推進

- ① 医療提供体制の充実
 - 医療機関の役割分担と連携の促進
 - 在宅医療の充実
 - 医師・看護職員確保・定着対策と地域医療格差解消に向けた取組の推進
 - 救急医療体制の整備
 - 周産期・小児救急医療体制の整備
 - 自治体病院への支援
 - 県立病院の充実強化
- ② 生涯を通じた健康づくりの推進
 - 県民主体の健康づくりの推進
 - 生活習慣病の発症予防と重症化防止対策の推進
 - 総合的ながん対策の推進
 - こころの健康づくり・ひきこもり対策の推進
 - 総合的な自殺対策の推進



高齢者福祉と障害者福祉の充実

- ① 高齢者福祉の充実
 - 生涯現役社会の実現に向けた環境整備と高齢者の健康づくりの促進
 - 地域包括ケアシステムの推進体制構築への支援
 - 医療・介護連携の推進と地域生活を支える介護・生活支援サービスの充実
 - 高齢者が暮らしやすい住まい・まちづくりの推進
 - 福祉・介護人材確保・定着対策の推進
 - 高齢者の尊厳を守りながら地域で支え合う仕組みづくりの推進
 - 認知症の方や家族の方などに対する総合的な支援の推進
- ② 障害者福祉の充実
 - 入所施設等から地域生活への移行の推進
 - 精神障害のある人の地域生活の推進
 - 障害のある人への理解を広げ権利を擁護する取組の推進
 - 障害のある子どもの療育支援体制の充実
 - 障害のある人の相談支援体制の充実
 - 障害のある人の一般就労の促進と福祉的就労の充実
 - 障害のある人一人ひとりに着目した支援の充実



IV 子どもの可能性を広げる千葉の確立

子育て施策の充実

- ① 妊娠・出産・子育て環境の整備
 - 結婚や妊娠・出産の希望をかなえるための支援
 - 健康で安心な子育て環境づくりと経済的負担の軽減
 - 働きながら生み育てやすい環境づくり
 - 男女が協力して子育てできる環境づくり
- ② 地域による子育て支援の充実
 - 待機児童の解消に向けた保育所整備等の促進
 - 保育人材の確保と資質の向上
 - 多様な子育て支援サービスの充実
 - 企業参画による子育て支援
- ③ 子どもの健やかな成長と自立
 - 子どもの成長の支援と家庭教育力の向上
 - 若者の経済的自立と就労支援
 - 児童虐待防止と社会的養護が必要な子どもへの支援の充実
 - 子どもの貧困対策の推進

教育施策の充実

- ① 未来を切り拓く人材の育成
 - 人生を主体的に切り拓くための学びの確立
 - 豊かな心を育む教育の推進
 - 生涯をたくましく生きるための健康・体力づくりの推進
 - 共生社会の形成に向けた特別支援教育の推進
 - 学びを将来へとつなぐ系統的なキャリア教育の推進
 - 人格形成の基礎を培う幼児教育の充実
 - 郷土と国を愛する心と世界を舞台に活躍する能力の育成
- ② 子どもたちの自信を育む教育の土台づくり
 - 人間形成の場としての活力ある学校づくり
 - 教育現場の重視と教職員の質・教育力の向上
 - 多様なニーズに対応した教育の推進
- ③ 地域全体で子どもを育てる体制づくり
 - 全ての教育の出発点である家庭教育への支援
 - 家庭・地域と学校との協働により地域全体で子どもを育てる体制の構築



教育施策の充実

- ④ 青少年の健全育成
 - 困難を有する子ども・若者やその家族の支援
 - 非行・犯罪防止と立ち直り支援
 - 情報化社会への対応と子ども・若者を守る環境整備
 - 多様な主体による取組と関係機関の機能強化

V 誰もがその人らしく生きる・分かり合える社会の実現

共生社会の実現

- ① 多様な個性が力を発揮できる社会の実現
 - 誰もがその人らしく生きていくことができる千葉の実現
 - 多様な人材の活躍の促進
- ② 男女共同参画の推進
 - 男女共同参画社会の実現に向けた意識の変革と情報発信
 - 男女が共に活躍できる環境づくり
- ③ 多文化共生社会づくりと国際交流の推進
 - 言語・文化・習慣等にかかわらず安心して暮らせる社会づくり
 - 国際交流の推進
- ④ 多様な主体の連携・協働による社会づくり
 - SDGsの考え方の理解促進
 - 多様な主体の連携・協働による課題解決の推進
 - 生涯学習社会を目指した取組の推進
 - 地域社会を豊かにする県民活動の推進



連携・協働による社会づくり

VI 独自の自然・文化を生かした魅力ある千葉の創造

千葉の魅力の向上と活用

- ① 半島性を活用した「千葉」のブランディングと移住・定住の促進
 - 海の魅力の充実・強化
 - 農林水産物のブランド力の強化
 - 多様な「ちば文化」のブランド化
 - 地域の特性を生かした移住・定住の促進
 - 「千葉」の魅力の戦略的な発信
- ② 地域の特色を生かした農山漁村の活性化
 - 農山漁村を支える活力の創出
 - 農山漁村における地域資源の活用
 - 有害鳥獣被害の対策強化
 - 海・漁業を生かした海辺・水辺の活性化



環境の保全と豊かな自然の活用

- ① 地球温暖化対策の推進
 - 再生可能エネルギー等の活用促進
 - 省エネルギーの促進
 - 温暖化対策に資する地域環境の整備・改善
 - 気候変動の影響に対する適応の推進
- ② 循環型社会の構築
 - 資源循環の基盤となる産業づくり
 - 「3R」を推進するためのライフスタイルづくり
 - 廃棄物等の適正処理の推進
 - ヤード等対策の強化
 - 産業廃棄物の不法投棄の根絶に向けた監視・取締りの強化
 - 再資源化に向けた県の取組の推進
 - 環境学習等の推進
- ③ 豊かな自然環境と大気・水環境の保全
 - 豊かな自然環境の保全と快適な利用促進
 - 良好な大気環境の確保
 - 騒音の少ないくらしの確保
 - 良好な水環境・土壌環境・地盤環境の保全
 - 多様な環境問題に関する調査・研究及び環境情報の提供
- ④ 野生生物の保護と適正管理
 - 生態系の保全と希少な野生生物の保護・回復
 - 有害鳥獣対策の強化
 - 特定外来生物の防除

千葉の特徴・歴史を生かした文化・スポーツ振興

- ① 文化芸術の振興
 - あらゆる人々が文化芸術に親しむことができる環境づくり
 - ちばの多様な伝統文化が輝き続ける地域づくり
 - 新たな文化芸術の価値を創造できる社会づくり
 - 次代を担う子どもや若者がちばの文化芸術に触れる機会づくり
 - ちばの強みを生かした文化芸術の創造・発信
- ② スポーツの振興
 - 人生を豊かにするスポーツの推進
 - 誰もが共に楽しめるバラスポーツの推進
 - スポーツ環境の整備・充実
 - 競技力の向上
 - スポーツの価値の発信



「千葉県総合計画～新しい千葉の時代を切り開く～」の指標一覧 (76の社会目標)

政策分野・指標名	現状	目標
I 危機管理体制の構築と安全の確保		
危機管理体制の構築		
・健康危機対策研修修了者数	4,914人 (令和2年度)	6,500人 (令和6年度)
・地域別消費総合指数	93.7 (令和2年度平均)	101.9 (令和6年度平均)
・自主防災組織の活動カバー率	68.9% (令和2年度)	84.3% (令和6年度)
・市町村業務継続計画における重要6要素11項目の策定状況	12市町村 (令和2年度)	54市町村 (令和6年度)
防災基盤の整備		
・防災拠点となる公共施設等の耐震化率	96.7% (令和2年度)	100% (令和6年度)
・地籍調査面積	843km ² (令和2年度)	1,020km ² (令和6年度)
くらしの安全・安心の確保		
・刑法犯認知件数	34,685件 (令和2年)	31,000件 (令和6年)
・自主防犯団体の数	3,037団体 (令和2年)	3,070団体 (令和6年)
・刑法犯検挙者中の再犯者率	49.3%	減少を目指します (令和6年)
・交通事故24時間死者数	121人 (令和3年)	110人 (令和6年)
・交通事故重傷者数	1,512人 (令和3年)	1,300人 (令和6年)
・消費者トラブルにあったときの相談窓口の認知度	16.3% (令和元年度)	20.0% (令和6年度)
II 千葉経済圏の確立と社会資本の整備		
経済の活性化		
・県内製造品出荷額等	12兆5,183億円 (令和元年度)	増加を目指します (令和6年)
・県内への企業立地件数	62件 (平成29年～令和2年平均)	180件 (令和4年～6年合計)
・県内年間商品販売額	12兆2,183億円 (令和元年度)	増加を目指します (令和6年)
・雇用事業所数による開業率	6.0% (平成28年度～令和2年平均)	増加を目指します (令和4年度～6年平均)
・完全失業率	2.7% (令和2年)	減少を目指します (令和6年)
・成田空港の航空旅客数	325万人 (令和2年度)	4,000万人 (令和6年度)
・観光総消費額	7,931億円 (令和2年)	1兆4,950億円 (令和6年)
・宿泊客数	8,997千人 (令和2年)	20,100千人 (令和6年)
農林水産業の振興		
・新規就農者数	314人 (令和2年度)	450人 (令和4年度～6年平均)
・県の事業を活用し新たに法人化を行った農業経営体数	8.7経営体 (平成30年度～令和2年平均)	10経営体 (令和4年度～6年平均)
・新規漁業就業者数	30人 (令和2年度)	35人 (令和4年度～6年平均)
・農業産出額	3,852億円 (令和2年)	4,370億円 (令和6年)
・県内漁港水揚金額	476億円 (令和元年度)	567億円 (令和6年)
・農業・漁業生産関連事業の年間販売金額	750億円 (令和元年度)	817億円 (令和6年度)
・県産農林水産物の輸出額	138億円 (令和2年)	208億円 (令和6年)

政策分野・指標名	現状	目標
III 医療提供体制の充実と健康づくりの推進		
社会資本の充実とまちづくり		
・県都1時間圏構想	76% (令和2年度)	79% (令和6年度)
・基幹管路の耐震適合率	59.3% (令和元年度)	60.6% (令和6年度)
・維持修繕が完了した橋りょう数	60橋 (令和2年度)	296橋 (令和6年度)
・汚水処理人口普及率	89.5% (令和2年度)	93.3% (令和6年度)
・立地適正化計画策定市町村数	8市町村 (令和2年度)	18市町村 (令和6年度)
医療提供体制の充実と健康づくりの推進		
・地域の医療体制に安心を感じている県民の割合	67.5% (令和2年度)	70.0% (令和6年度)
・臨床研修修了者の県内定着率	52.3% (令和2年度)	80.0% (令和6年度)
・がんによる75歳未満年齢調整死亡率(人口10万対)	68.2 (令和2年)	65.7 (令和6年)
高齢者福祉と障害者福祉の充実		
・高齢者施策について満足している県民の割合	26.7% (令和2年度)	35.0% (令和6年度)
・介護予防・日常生活支援総合事業における「多様なサービス」(訪問型及び通所型)に取り組む市町村数	33市町村 (令和2年度)	54市町村 (令和6年度)
・就業又は何らかの地域活動をしている高齢者(60歳以上)の割合	男性70.7% 女性64.3% (令和元年度)	80.0% (令和6年度)
・「共生社会」という考え方を知っている県民の割合	42.0% (令和2年度)	50.0% (令和6年度)
・福祉施設利用者の一般就労への移行実績	871人 (令和2年度)	1,400人 (令和6年度)
IV エコモビリティの可能性を広げる千葉の確立		
子育て施策の充実		
・産後ケア事業を実施している市町村数	37市町村 (令和2年度)	54市町村 (令和6年度)
・地域子育て支援拠点の数	340箇所 (令和2年度)	362箇所 (令和6年度)
・保育所等の待機児童数	428人 (令和3年4月1日現在)	解消を目指します (令和7年4月1日現在)
・里親等委託率	30.6% (令和2年度)	34.8% (令和6年度)
・1歳6か月児健康診査・3歳児健康診査の未受診児の状況把握率	1歳6か月 81.4% 3歳 82.7% (令和2年度)	1歳6か月 100% 3歳 100% (令和6年度)
教育施策の充実		
・授業で、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んだ児童生徒の割合	小77.8%・中79.6% (令和3年度)	全国平均以上かつ増加を目指します (令和6年度)
・全国学力・学習状況調査の平均正答率	小(国)65%・(算)70% 中(国)65%・(算)56% (令和3年度)	全科目において、全国平均正答率以上を目指します (令和6年度)
・将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合	小81.3%・中67.8% (令和3年度)	全国平均以上かつ増加を目指します (令和6年度)
・小学校における新体力テストの平均点	48.9点 (令和元年度)	50.0点 (令和6年度)
・国語・算数(数学)の授業の内容がよく分かったと考えている児童生徒の割合	小(国)83.5%・(算)82.2% 中(国)76.5%・(算)74.8% (令和3年度)	全国平均以上かつ増加を目指します (令和6年度)
・学校内外の機関等で相談・指導等を受けていない不登校児童生徒の割合	36.6% (令和2年度)	全国平均以下かつ減少を目指します (令和6年度)
・地域学校協働本部が整備された小中学校の割合	60.0% (令和3年度)	全国平均以上を目指します (令和6年度)
・コミュニティ・スクールを導入した学校の割合	9.7% (令和3年度)	全国平均以上を目指します (令和6年度)
・小中学生の保護者向けにインターネット適正利用啓発講演を実施している市町村数	19市町村 (令和3年度)	54市町村 (令和6年度)

政策分野・指標名	現状	目標
V 誰もが安心して生活できる社会の実現		
共生社会の実現		
・ダイバーシティという考え方を知っている県民の割合	未調査 (令和2年度)	80.0% (令和6年度)
・社会全体で男女の地位が平等となっていると思う人の割合	13.6% (令和元年度)	30.0% (令和6年度)
・地域日本語教室が開設されている市町村数	35市町村 (令和2年度)	39市町村 (令和6年度)
・県の姉妹州・友好都市交流への参加者数	8人 (令和2年度)	350人 (令和6年度)
連携・協働による社会づくり		
・「ちばSDGsパートナー登録制度」の登録数	0件 (令和3年度 創設)	1,000件 (令和6年度)
VI 独自の自然文化を生かした魅力ある千葉の創造		
千葉の魅力の向上と活用		
・人口の社会増	16,770人 (令和2年)	増加を目指します (令和6年)
・メディアに取り上げられた件数	12,705件 (令和2年度)	13,060件 (令和6年度)
・県の移住・定住ホームページアクセス件数	67,409件 (令和2年度)	70,000件 (令和6年度)
・直売所1箇所当たりの年間購入者数	256千人 (令和2年度)	275千人 (令和6年度)
・農村の持つ多面的機能の維持・発揮を図るため農業者等が共同で取り組む活動面積	33,900ha (令和2年度)	37,400ha (令和6年度)

政策分野・指標名	現状	目標
環境の保全と豊かな自然の活用		
・千葉県における二酸化炭素排出量	75,519千t (平成29年度)	削減率20%削減 (令和6年度)
・森林整備面積	461ha (令和2年度)	640ha (令和6年度)
・電動車保有台数	48.4万台 (令和2年度)	65.8万台以上 (令和6年度)
・産業廃棄物の最終処分量	28.9万t (平成27年度～令和2年平均)	28.1万t以下 (令和6年度)
・一人1日当たりの家庭系ごみの排出量	519g (令和元年度)	453g以下 (令和6年度)
・光化学スモッグ注意報の年間発令日数	9.5日 (平成29年度～令和2年平均)	9.5日以下 (令和4年度～令和6年平均)
・河川・湖沼・海域の水質環境基準達成率(BOD・COD)	72.9% (令和2年度)	77.6% (令和6年度)
・キョンの生息数	約50,300頭 (令和2年度)	約40,000頭 (令和6年度)
・イノシシの捕獲数	25,954頭 (平成28年度～令和2年平均)	30,000頭 (令和6年度)
千葉の特徴・歴史を生かした文化・スポーツ振興		
・この1年間に文化芸術に触れた県民の割合	69.5% (令和2年度)	75.0% (令和6年度)
・成年の週1回以上のスポーツ実施率	62.5% (令和3年度)	70.0% (令和6年度)
・パラスポーツの体験や観戦をしたことのある成年の割合	未調査 (令和3年度)	50.0% (令和6年度)

「SDGsの推進」を

未来の千葉県を
築いていくためには欠かせない、
「施策横断的な視点」として位置付け、
全庁を挙げて取り組みます。

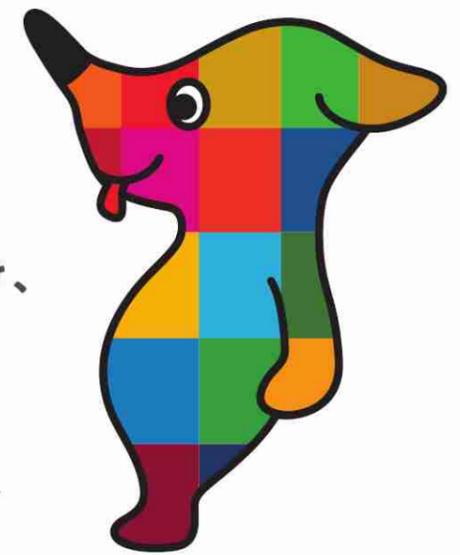
SDGsは、「誰一人取り残さない」社会の実現を目指し、経済・社会・環境を
めぐる広範な課題に統合的に取り組むものであり、SDGsを推進していくため
には、県民の皆さんにSDGsを身近に感じていただき、できることから取り組ん
でいただくことが重要であると考えています。

また、SDGsの考え方は、県政の様々な分野において、県が目指す方向性と
同じであることから、本計画に掲げる政策・施策を着実に推進していくことで、
SDGsが目指す社会の実現につなげることができると考えます。

【取組例】ちばSDGsパートナー登録制度

県内の企業や団体等による自発的な取組を後押ししていくために創設した制度です。
新たにSDGsに取り組む企業等を増やしていくとともに、SDGsをきっかけに企業等同士が連携することで
新たな展開が生まれていくことを期待しています。詳しい情報は千葉県ホームページからご確認ください。

ちばSDGsパートナー  <https://www.pref.chiba.lg.jp/seisaku/sdgs/sdgs-touroku.html>



ちばSDGs

